

校長フログ No.34	つ な が り	2025 年 3 月 17 日 発行 者 大阪市立田辺中学校 校長 井 寄 芳 春
------------------------------	----------------	--

受け継いだ“バトン”!!

3 月 14 日に、第 76 回目となる卒業式が行われました。

とても厳肅な雰囲気のもと、とても感動的で心温まる卒業式となりました。在校生代表の「卒業生を送る言葉」も、卒業生代表の「門出の言葉」もとても心のこもったすばらしい内容でした。式歌である「次の空へ」は、76 期生らしい美しく、見事なハーモニーを披露してくれました。76 期生の 201 名は、一人ひとり、新たな決意を胸に、それぞれの未来に思いを馳せながら、田辺中学校を立派に巣立っていきました。

1・2 年生のみなさんは、卒業式の式場の準備や校舎内の清掃、会場の後片付けにかかわってくれました。みなさんのおかげで、立派な卒業を行うことができました。この場をお借りしてお礼を言いたいと思います。

卒業生代表の「門出の言葉」の中で、在校生に向けての次のメッセージがありましたのでここで紹介します。

在校生のみなさん、私たちが慕い、頼ってくれてありがとう。皆さんのおかげで、私たちは先輩として自覚を持つことができました。これからの田辺中学校を築いていくのは、皆さんです。時には困難に直面することもあるでしょう。それを乗り越えてこそ、本当の田辺中学生になれるはずです。悩んでもいい、立ち止まってもいい。でも、最後は前を向いて一歩を踏み出してください。皆さんに、田辺中学校の伝統というバトンを渡します。

3 年生が卒業して、田辺中学校も少し寂しくなりました。けれども、来月の 4 月 4 日には、1 年生、79 期生の入学式があり、令和 7 年度の田辺中学校がスタートします。新入生にとって、皆さん一人ひとりが、大きな目標になっていくことでしょう。

中学校は、3つの学年で成り立っています。先輩たちに憧れながら、やがて後輩たちから憧れられる存在になっていく。それが学校という場の良さだと思います。

新しい後輩たちを迎える準備も整えながら、先輩から受け継いだバトンを、しっかり握り、自分の目標を一つ一つ、達成していきましょう。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。